

# 山崎かな子

## 活動レポート vol.2

2024 年 10 月 20 日発行



2024 年 6 月・9 月議会定例会を振り返ります

## 7 月に発生した豪雨災害で被災されたみなさまに 心よりお見舞い申し上げます。

7 月 9～10 日と 25～26 日にかけて、山形県内で未曾有の豪雨災害が 2 度にわたり発生しました。最上町では小国川は氾濫しなかったものの、沢水が溢れてあちこちで土砂崩れが起き、道路や鉄道、農業、観光などへの被害が多く発生しました。

翌日に私も災害現場を見て回りましたが、気候変動（温暖化）が想像以上に私たちの暮らしに大きく影響を及ぼしていることを痛感させられました。近年、全国の自治体では気候非常事態宣言を発令し、地域レベルで温室効果ガスの大幅削減などに取り組んでいます。

しかしながら、対策を講じたとしても自然災害は人間の想像を超えてきます。ハザードマップや災害備蓄の見直しはもちろんのこと、日頃の暮らしの中で CO2 削減や持続可能なエネルギーへの転換などを行うことも大切です。災害の経験から、今一度地域づくりのあり方を再構築していく必要があります。

### 【山崎の災害時の動き】

- ・10 日、土砂崩れ発生箇所の確認
  - ・25 日深夜、避難所にて状況確認
  - ・26 日未明、初音前の浸水状況確認
  - ・10、26 日 立小路奥の氾濫状況確認
  - ・通行止めなどの被害状況を随時 SNS 等にて発信
  - ・浸水住宅の片付け手伝い
  - ・各地区の被害状況確認と役場への相談
  - ・芳賀道也参議院議員に陸羽東線代行バス要望（増便含む）
  - ・知事、国会議員らの被災現場視察同行
  - ・義援金を被災者に届けていただくよう議会で発言
- ほか、戸沢村蔵岡地区のボランティア活動などを行いました。



### 6 月定例会 一般質問



1. 不登校児童生徒に行なっている支援について
2. フリースクール通所への公的補助は可能か
3. 通塾・ICT 学習の児童生徒を登校扱いとしているか
4. 不登校児童生徒増加に伴う教育方針の見直し
5. 不登校児童生徒への健康診断の実施または補助

## 「不登校児童生徒への支援について」

不登校児童生徒が急激に増加している背景には、多様性と言われる時代の考え方と、昔からあまり変わらない教育システムとの乖離があります。文部科学省もそれぞれの進度や興味関心に合わせた個別最適な学びを推奨はしているものの、教員不足や働き方改革などで実現は厳しい状況です。

国として本腰を入れて教育対策を行っていただく必要はありますが、まず子どもたちの心のケアや保護者の負担などを減らす必要があり、町においても多方面から対応していただくよう提言しました。

不登校については地域の皆さまの理解も重要な支援となりますので、「特別」ではなく誰にでもなりうる状況があることをご理解いただき、見守っていただければ幸いです。



除雪の心配も、買い物の心配もない、  
これからの地方の暮らし方に合う  
多世代交流集合住宅を。

●この他に、「稼げる地域づくりを自治体から」を質問しました。

## 「多世代交流集合住宅の設置について」

町内には民間が経営する集合住宅はごくわずかしかなく、若者定住促進住宅も含め、常に満室の状態です。若者世帯は住む場所がないことを理由に町外へ転出するケースも多くあり、人口を減らす原因にもなっています。また単身者や移住者、一軒家を維持するのが困難な高齢一人暮らし世帯の需要もある集合住宅を設置する方法を町で考えていただけないか質問しました。

町からは町営住宅や空き家などの活用をし、新規の整備は行わないという答弁をいただきましたが、空き家は広すぎたり、老朽化が進んでいたりとなかなか需要とマッチしません。多世代がゆるやかに交流しながら豊かに暮らせるような集合住宅は今、各世代から求められています。

## 本会議・決算委員会での私の主な質問

まちづくり

福祉  
農林

観光  
商工

土木

教育

病院

- ・町民へのプライバシーの配慮について
- ・インフォカナルの活用と町公式 LINE の設置
- ・住民票のコンビニ交付についての周知
- ・最上町ホームページの見づらさの解消
- ・空き家除去の補助金が町外居住者のみの理由
- ・温浴施設での湯あみ着着用理解促進ポスター掲示
- ・鳥獣被害削減に向けた遠隔カメラの設置補助
- ・農商工ビジネスチャンス支援金の実績
- ・銀山温泉最寄りの立地を活かした町内への誘客
- ・除雪車への GPS 機能搭載による効率化
- ・夏場の子ども達への熱中症対策
- ・ひとり親、生活困窮世帯への支援
- ・いじめの実態と傾向
- ・スクールカウンセラーの利用案内の周知
- ・封人の家と周辺資源の活用による観光客の誘客
- ・最上病院のクレジットカード決済導入

## その他議員・個人活動

### ● 広報編集委員会

より伝わりやすい議会広報を目指し、研修や活動を行っています。企画させていただいた「みんなの議会」コーナーでは、新たな取り組みとして町民のみなさまの声を掲載しています。今後も広聴の場としても活用してまいります。

### ● 地域 × Tech 東北、こども × Tech 東北視察

自治体の活性化を目指した、様々な最新技術や仕組みなどの展示会を個人で視察してきました。子ども支援の技術から



除雪の効率化まで、様々な方面の最新技術を知ることができ、町にも適用できそうなものも多数ありました。

### ● 極上のアスパラガスまつり開催

最上町の魅力的な特産物でもあるアスパラガスをより広く発信するために、6月2日赤倉温泉うねにてイベントを開催し、300名近くのお客様が県内外から来場されました。今後も最上町のファンを増やす活動を行ってまいります。

その他／議会運営委員会へ議事録文書の公開を依頼し、実現しました。町 HP の議会ページよりご覧ください。

山崎かな子（もがみスマイルバトンプロジェクト事務局）

山形県最上郡最上町大字富澤 889-3

電話 080-3256-1134

メール mogami.smilebaton@gmail.com

HP <https://mogamismilebaton.com/>



一般質問の動画



HP